

## 日本温泉科学会第 60 回大会

---

**公開講演 2**

---

**温泉と私達の生活**

(財)中央温泉研究所  
甘露寺 泰 雄

**Utilization of Hot Springs and Community Life**

Yasuo KANROJI

Hot Spring Research Center

テレビやマスコミでは、毎日といってよい程温泉に関する話題がとりあげられている。

最近では、東京渋谷の温泉施設での爆発事故がとりわけ話題になっている。この事故の詳細については、公式な発表は6月末現在ないので不明の点も多いが、施設側も又行政側にも問題があったことはたしかである。この種の事故対策については、環境省、消防庁などで早急な対策を取りまとめる事になっている。

この講演は、「温泉と私達の生活」という題であるので、私なりにこの課題をとりまとめてみた。以下、概要を記述してみる。

**イ) 温泉の効き目**

温泉というと、先ず「何に効きますか」という質問がとんでくる。

この問題は案外奥が深いが、温泉の人間に対する作用は、「薬の作用」とはかなり違う面がある。つまり、入浴だけではなく、浴場や施設のたたずまい、雰囲気、周辺環境、食事、戸外での運動、見物、それに本人の体調などが諸要素が関係してくる。

温泉や入浴の効果は、現在の温泉医学のレベルでは、薬理作用、化学作用、それに環境効果の総合としてとらえるのが妥当とされている。

温泉旅館では、適応症が掲示してあるが、これについては、禁忌症、注意事項を含めて、温泉気候物理医学会と環境省で見直しが進められている。その内容は、疾患の治療よりも症状の改善を重視し、化学成分だけでなく温泉のもっている正常化作用の意義を再確認する方向がうちだされている。

**ロ) 好まれる温泉**

近年、温泉ベストテンがはやり、炭酸含有量日本一、湧出量日本一といった文句がはやる。日本一イコール好まれる温泉とは限らないし、日本一が科学的に実証されているとは限らない。九州では、指宿、黒川、湯布院、長湯などがよく話題になる。それぞれ特徴があり、私の好きな温泉でもあるが、これ以外にも湯の鶴や武雄、嬉野といった温泉の良さも見逃せない。要するに、「あの温泉はよかった、もう一度行こう」という評価が大切なのではなからうか。もう少し云わせてもらえば、平俗平凡な風景も温泉地にとって大切であり、日の当たらない場所を大切にしたいものである。

ハ) 一般的な温泉情報は誤解されていることが多い。その幾つかをあげてみる。

加水はいけない。かけ流しがすぐれている。温泉水に含まれるゲルマニウムやバナジウムが有効である。浴剤の添加はけしからん。温泉地で温泉ではなくただの水を浴槽に使用している。モール浴。など。

以上、思いつくままにお話しをしてみたい。